

目次 東大科哲の会誌「科哲」27号

■ 巻頭言：嫌な日本語	村上 陽一郎	4
■ 総会記念講演：政治の言葉/言葉の政治		
講演記録	編集委員会	6
「そんなつもりはなかった」は通用するのか？	藤川 直也	11
－ 講演記録をめぐって		
■ 特集：言葉をめぐって		
言語行為としての嘘	野家 啓一	15
言語に関わる無意識の思い込み	鈴木 孝典	18
行為とは何か	平位 敦	21
－ ブッダとガンディーによる言葉の意味の読み替え		
抽象概念の存在論と認識論	畔上 耕介	24
言説の脱構築	中島 秀人	29
エポニムあれこれ	下坂 英	30
俳句の言葉、言葉の俳句	住田 友文	34
「大森荘蔵」の言葉	蓑手 奈保美	37
言葉に窮すること	多羅 尾良吉	40
■ 談話会報告：日本学術会議問題とは何だったのか	編集委員会	42
■ 追悼		
夏目賢一さん － 技術者倫理研究・教育に尽力	隠岐 さや香	44
佐藤敬三さん － 白き山を目指して	住田 友文	48
福家皎さん － 技術者から教育者へ	辻 篤子	49
武富保さん － 脳の生化学にかけた情熱	多羅尾 良吉	51
上野紘機さん － 豊かな感性で『科哲』に情熱を注ぐ	武部 俊一	53
フシギ人間 鈴木邦彦さん	由紀子・齋藤・大熊	56
－ ピアノ・シャシンキ・野鳥の会		
愉快で豪快な男、川崎勝さん	中島 秀人	57

■ 四方山話：自然、言葉、私	亀山 陽司	59
■ 私の編著		
世紀転換期の英米哲学における観念論と实在論	染谷 昌義	65
― 現代哲学のバックグラウンドの探究		
村上陽一郎の＜科学・技術と社会＞論	柿原 泰	68
― その批判的継承と発展		
■ 報告		
研究室の近況	三村 太郎	70
教員・卒業生の近況		72
校友会の報告	住田 友文	76
総会・理事会・諸活動の報告		78
会計報告		83
■ 理事会から		85
■ 会員役員名簿		87
■ 編集後記		88

題字：木村陽二郎 本文カット：大森荘蔵